

**テーマ** 「寺・女子・街」それぞれが持つ魅力を生かした新製品開発とチャレンジショップ事業  
**商店街名** 一身田商工振興会

**背景と課題**

[背景]

- 一身田商工振興会がある三重県津市一身田には真宗高田派の本山である専修寺（せんじゅじ）があり、年間約35万人が来訪。
- 地域で最も集客力のある地域資源である専修寺が非常に近い位置にありながら、参拝の前後に来訪者が商店街に足を運ぶ流れはなく、商店街が衰退。また、商品力のある個店は外商で売り上げる等、個店の努力が商店街の活性化に結びつかない構造ともなっている。

[課題]

- 商店街の人通りを増やすことが課題。

**活用資源**

- 集客力のある専修寺。
- 隣接地の高田短期大学には多数の女子大学生が在席。
- 本山御用達となっている和菓子店など、歴史ある門前町に発展した個性豊かな個店。

**目標**

- 専修寺との連携した活性化への取組み体制のスタート
- 話題づくりによる知名度向上
- 女性を中心とした新たな観光動向に対応した観光・購買行動の対象地としての地位確立に向けたスタート
- 街の活性化に向けた機運形成に伴う既存店舗の経営意欲向上と新規出店機会の増加

**特徴**

- 寺と商店街と大学との連携事業
- 女性目線の商品開発、地域活性化
- 地域ブランド「一身田印」の新設
- 地域や関係者が一体となって活性化に向けた体制を継続することを担保する一身田印認定協議会の発足

**解決の筋道、スキーム、実行内容**

- ① 一身田印認定協議会の発足
- ② 一身田印のロゴの公募、協議会での決定、パッケージ等プロモーショングッズの開発
- ③ 認定に向けた商品開発
- ④ テストマーケティング
- ⑤ 協議会での商品認定、ブランド化
- ⑥ 商品の継続販売
- ⑦ プロセスのイベント、マスコミ等を通じたプロモーション
- ⑧ 商店街の人通り増加に向けた、次年度以降の新たな認定、寺と連携した新たな事業展開

**結果**

- 一身田印認定協議会の発足
- イベントやマスコミ等で紹介されるなど知名度向上
- 次年度の協議会継続開催、道の駅での出展等事業拡大予定
- 女子大生と連携した6つの新商品開発と成果報告会での周知

**新たな課題、今後の発展**

- 認定協議会の継続、ブランドの周知、販売拡大
- 商店街のイベント時以外の人通りの増加
- 空き店舗への新規出店